

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2022 市民／学生応募用紙

<b>自治体提示の地域課題名</b> (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	- (事務局用)	「室蘭が好き。」を増やして、みんなで住み続けたいマチを創る	室蘭市
<b>チームがつけたアイデア名 (公開)</b> (注2)	むろシェア		

(注1) 地域課題名は、COG2022 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

<b>チーム名 (公開)</b>	バックチルドレン		
<b>チーム属性 (公開)</b>	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<u>3</u>	
<b>メンバー数 (公開)</b>	6名		
<b>代表者 (公開)</b>	高野 愛莉		
<b>メンバー (公開)</b>	石川 大貴、伊藤 翔真、大森 涼佑、榎本 大輝、梶原 颯斗		

#### **【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2022\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2022 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2022@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
 

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイザーの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

**アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認**

○

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

**<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>**

地域に放置されている困りごと（道路が傷んでいる、ごみが散乱、公園の遊具が壊れているなど）が多くあること。

**<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>** **<アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>**

**<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>**

地域で困りごとがあった際に、その困りごとをアプリに投稿し、市民と市役所で共有する。そうすることで、市に問題を認知してもらい解決してもらおう、というアプリケーション。

例えば、除雪が行き届いていないところがあった場合に、近隣の住民がアプリに写真と住所を投稿する。そして、市役所がアプリでそれを確認することで、追加の除雪を要請し、問題が解決される。

このように、地域の住民は電話やメールといった手間がかかる作業をせずに、アプリに投稿するだけで問題を手軽に市に報告ができる。市側も地域の認知していなかった問題点をアプリで一括に把握することができようになるといえる。

- ・「誰が」…室蘭市民
- ・「いつ」…困りごとがあったときにいつでも
- ・「どこで」…室蘭市内
- ・「どのように」…写真とコメントを送信し、室蘭市内民市役所で情報を共有する

--

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

以下に室蘭市の高砂5丁目公園に関するデータを示す。問3-2は高砂5丁目公園の『維持管理や安全性』についての「満足度」についてのアンケート結果である。除草、植物の剪定状況、水はけ、バリアフリー、防犯面、遊具の安全面、周囲の交通安全性、公園周辺の治安、全ての項目においても10%前後の満足度しかない状況である。総合満足度も8%であり、改善が必要であることは明白である。このアプリを用いることでこのような状況が役所に迅速に報告され修繕される効果があると考えます。

困りごとがあったときにこのような情報ツールがあれば、情報共有が容易になると考えた。また、アプリ形式にすることで、手軽に扱える利点もある。

室蘭ホームページアンケート調査

<<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org7330/documents/annke-tokekka.pdf>>



### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

基本的に市役所の職員が主体で行う。

アプリは室蘭市内のみでの使用。

市はアプリの維持費、宣伝を行うための広告費(チラシ製作費等)、問題解決を行う際(除雪の要請等)の追加費用が必要。アプリ運営のためにアプリ画面に広告を掲載し、その広告費を使用する。

市役所が他の会社にアプリの管理などを委託する場合、委託費も必要とする。

実現に向けて次の手順で行う。

1. 市役所の PC でアプリの管理が行えるように環境を整える。
2. 市がチラシ配りなどの宣伝を行い、室蘭市民にアプリのインストールをするよう勧める。
3. 室蘭市民がアプリのインストールを行う。
4. 市民が投稿をする。
5. 市が民間業者に依頼して解決する。

